

## 「新入生に向けて」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

香川大学の印象はどうでしょうか?皆さんはこの大学で4年間を過ごしていくことになります。ぜひ自分のやってみたいことに精一杯挑戦して、充実した学生生活を過ごして欲しいと思います。

始めのうちは期待や希望が多い分、きっと戸惑いや不安も同じくらい強いと思います。例えば、授業の組み方に困ったり、部活やアルバイトはどうしようかと考えたり、初めての一人暮らしは慣れないことばかり……。一年生の頃の私はそんな感じでした。

まずは、あせらずに、自分のできることから始めていけば良いと思います。生活に慣れ、落ち着くことが何よりも大切だと思うからです。特に一人暮らしの方は、体調を崩さないように気をつけてください。

大学はその名前のおり“大いに学ぶ”場所です。先にも書きましたが、自分の興味のある分野を大いに深めてください。そして自分の知らない分野や世界を見るのも立派な勉強です。今しかできないことに積極的にチャレンジしてみましょう!そして、大学生活を通じて、きっとたくさんの人と出会うことになるはず。出会いを通じていろいろな人の考えを知って、「なるほど」と思えることも大切な勉強の一つです。一期一会の人との出会いをぜひ大切にしてください。

この4年間は本当に短いです。この4年間のうちにできることは、その人の努力しただけ決まります。可能性はきっと目の前に無限に広がっています。これからの学生生活の中で、たくさんの希望や夢を持って、それに向けて精一杯頑張ってください!今とこれからの自分の可能性を信じてください。学生生活が充実したものとなることを祈っています。



教育学部4年  
高杉 一人

## 「先輩からの一言」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、長い受験生活お疲れ様でした。これから始まる大学生活に期待と不安を抱いておられることと思います。そこで、大学生活について少し話をさせていただこうと思います。

大学生活は、これまでの生活と違い、生活全般に対して誰にも何も言われません。勉強に遊びにバイト、何をしても全て自由です。その分、これからは大人として扱われることになり、全ての行動に自己責任が伴うこととなります。授業に出なくても、成績が悪くても、単位を落としても、先生にも親にも何も言われません。勿論、大学に行かなくても構いません。大学は学ぶ機会を与えてくれますが、強制してはこないからです。だから、大学生活ほど自由な時間を持つことは他にないでしょう。そして、大学生活は何もしなくてもあっという間に過ぎていきます。しかし、何かやりたいことを見つけて、何かに取り組んで過ごすこともできます。だからこそ大学生活の4年間で何をすることが重要になると思います。

皆さん、ぜひこの長い時間を使って、資格を取るなど、新しいことに挑戦したり、今までやりたかったことを心ゆくまでやってみたり、多くの人との出会いを経験して充実した4年間を過ごしてください。

最後になりましたが、新入生の皆さんが悔いの残らない充実した楽しい大学生活を送られることを心から祈っています。



法学部4年  
中島 俊一

## 「新入生の皆さんへ」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから大学生として見る景色は今までとは少し違って見えるでしょうか。

さて、皆さんは、それぞれ何かしらの目標や夢を持って大学に入学されたのでしょうか。明確に持っている人、漠然と持っている人、それぞれあると思います。

私が所属する夜間主コースには、仕事と勉強を両立されている方がほとんどです。それは時間的にも身体的にも非常に大変なことです。それでも前向きに通っていらっしゃるの、果たしたい目標や叶えたい夢を力強く持っておられるからだと思います。社会人の方と一緒に通っていると、目標や夢が人に大きな力を与えることに、改めて気付かされます。

しかし、それらは焦って見つけるべきでも、執着して求めるものでもないと思います。いくら明確なものを持っていたとしても、学生生活では様々な人との交流があります。人の考えは常に変化の中にあつて、その変化の中には様々な可能性があります。自分の考えを変えることを恐れず、変化する自分を見つめ、素直に受け止める力も十分に培うべきだと思います。



法学部(夜間主)3年  
山下 亜希子

## 「大学生活を有意義に過ごすコツ」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

慌しくしんどかった受験もやっと終わって、親元を離れて一人暮らしを始める人、実家から大学に通う人、様々な方がいらっしゃると思います。ですが、皆さん少なからずこれから始まる大学生活に対して不安を抱いてはいませんか？というわけで、私なりに感じてきた「大学生活を有意義に過ごすコツ」をここで皆さんに紹介したいと思います。

まず、高校と大学はまるっきり違います。じゃあ、何がどう違うのか？

高校と大学の違いを一言で表すなら、「自由であること」になると思います。勉強に励むのも、部活やサークルに集中するのも、友達と一生懸命遊ぶのもあなたの自由。誰も文句を言わないし、叱られません。

しかし、勉強ばかりではこのせつかくの大学生活おもしろくないし、せつかくいろんな地域からたくさんの方が集まってくるのに友達の幅が広がらない。でも、遊んでばかりだと、せつかく苦勞して入った大学なのに学費も時間ももったいない。だから、しっかり自分のやりたいことを見つけて、勉強とのバランスを考えることが大切です。

つまり、大学生活を過ごしていく中で「自分は何をしたいのか」を見つめ、「自分がしたいこと」を見つけて、自分のしたいことを自分の責任の範囲内で実行していくこと。それが大学生活の「自由」だと思ひ、「大学生活を有意義に過ごすコツ」だと思います。

先輩からのアドバイスとして、頭の片隅に置いてもらって、ぜひこれからスタートする大学生活4年間を、あなたにとって有意義なものにしていってください。



経済学部4年  
矢野 智久



経済学部(夜間主コース)4年  
泉 和馬

### 「価値ある失敗を」

『自ら飛び込むほうが良い、手をこまねき待つよりも。』  
『失敗とはその瞬間の「出来事」ではなく、そこに到るまでのプロセスを見直せという「メッセージ」である。』

この二つの言葉は、私がいつも心の中で自分自身に言い聞かせているものです。大学生活では、多くの時間が自分に与えられています。勉強、研究、スポーツ、恋愛など、時間をどう使うかは、個人の自由なのです。ただ平凡に毎日の生活を送るというのも、幸せなのかもしれません。しかし、挑戦することで、日常では得られない貴重な経験をすることが出来るはずですよ。

私は今、ひとつの事に挑戦しています。その中でたくさんの人と出会い、学び、自分を磨いている最中です。自分の周りに可能性は常に存在しています。挑戦することによって、貴重な失敗を経験することが出来、それを糧に努力することによって、人間力を深めることが出来るのです。そして、その挑戦の過程において、素晴らしい先生や仲間との出会いがあるはずですよ。

皆さん、失敗を恐れず自ら飛び込み、何かひとつでも掴んでください。きっと、卒業する頃にはこの上ない達成感と、かけがえのない仲間を得ることが出来ると思います。

最後になりましたが、ご入学おめでとうございます。皆様の成長、成功を心より願っております。

### 「先輩から一言」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。  
辛く長い受験勉強も終わり、いよいよ期待に膨らむキャンパスライフが始まるのですね。皆さんが笑顔で満ち溢れている姿が目につくたび、自分まで何故だか嬉しくなってしまうよ。  
新しい世界に飛び込むことは、期待と同時に不安もつきまとってくることでしょ。自分も、初めは一人暮らしや知らない人ばかりの生活に緊張と戸惑いがあり、毎日精神的に凄く疲れていたように思います。でも、大学生活に慣れてしまえばこっちのものです。  
1年生の頃は、自分の時間がたくさん持てる貴重な期間です。看護の学生は、2年生から専門科目がたくさん入って忙しくなり、1年生とは違うスタイルの生活が始まります。  
1年間はあっという間です。皆さんの新しい生活が、楽しく、充実したものになることを心から願っています。頑張ってください!!



医学部3年  
山崎 祐佳

## 「新入生歓迎の言葉」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活へ、期待や不安などのいろいろな気持ちでいっぱいだと思います。ここでは、皆さんに大学生活のイメージを持ってもらうために、少し述べたいと思います。

まず、第一に、気の合う友達をつくっておくといいです。大学生活は楽しいことも多いですが、それと同じくらい大変なことも多くあります。そんな時、友達と一緒に協力すると意外に大変とは感じません。そんな良き友達を皆さんもつくってください。はじめにサークルや部活動の見学などに行き、その場で友達の輪を広げてみるのもいいでしょう。サークルや部活動をきっかけにして、交友関係を深めていければ、きっと大学が楽しいところになっていきます。

次に、時間を大切にしてください。大学では、講義などはある程度自分で決めることができるので、高校時代と違って時間ができます。その時間を有効に使って、アルバイトをしたり、勉強したり、時には遊んだりして、今しかできないことを大いに楽しんでください。特に夏休みは2ヶ月ぐらいあるので、今からでも予定を立てて、アルバイトをしながらお金をためたりしておけば、長い長期休暇も有意義に過ごせるでしょう。それでも締めるところはしっかり締め、勉強をしっかりしておけば、後々苦労することも無いでしょう。ダラダラとした生活にならないようにしておけば、大学生活は楽しいことだらけです。

最後に、皆さんが大学生活の4年間で、自分のやりたいことや夢を見つけ、そして夢に向かって自分を磨いていく場所に、大学がなっていることを祈っています。新入生のみなさん、大学生活を精一杯楽しんで下さい。



工学部4年  
矢間 克彦

## 「新入生の皆さんへ」

新入生の皆さん。突然ですが、あなたは今の自分に満足していますか?何となく香大に来た人、仕方なく香大に来た人、当然いると思います。もう一度自分と相談してみてください。そして早く決断してください。今ならまだ間に合います。どうしてこのようなことを言うのか、それは、大学という所は、嫌々来ているは何も面白くないからです。経験者は語ります。僕は「編入制度」を利用して、香大の3年次に他大学から編入してきました。浪人が嫌だったので、仕方なく何も興味のない大学に進学したのですが、本当に何も楽しくなかったです。大学生活を楽しむには、ある程度自分で納得した大学に進学する必要があると感じました。ぜひ考え直してください。

次に香大を希望して進学してきた方、もしくはとりあえずは今の自分に満足しているという方、改めてご入学おめでとうございます。これから楽しい学生生活の始まりです。色々不安もあるだろうと思いますが、まずは何事もチャレンジしてみる事です。1年生なので、失敗しても当然です。けれど、必修科目は出来るだけ失敗しないようにしてください。後々面倒らしいです。これはあくまで僕の経験からの意見ですが、普通にしていれば単位を落とすことはありません。毎回(出来るだけ)授業に参加して、テスト1ヶ月位前から勉強していれば大抵は大丈夫でした。僕は人より記憶力が劣っていたので、1ヶ月必要としましたが、もう少し短い期間でもいいかもしれません。テストは基本的には前期・後期の2回なので、1年間のうち勉強するのはわずか2ヶ月です。ぜひ頑張りましょう。

最後に、大学を嫌いにならないでください。好きになる必要はありませんが、嫌いになってしまうと、マイナス面ばかり見るようになり、全てが嫌になってしまいます。楽しい4年間で過ごせるよう応援しています。頑張ってください。



農学部4年  
上原 弘幹

## 「有意義な学生生活を」



教育学研究科2年  
卓 和正

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。みなさんは、今、新しい生活をスタートさせ、新鮮な毎日を過ごしていることと思います。

私は、現職の小学校教員ですが、内地留学として、大学院で学んでいます。教員生活もやりがいがあり、充実していましたが、もっと専門的な知識を身につけ、教師として成長したいと願い、大学院進学を志すようになりました。

4月からの大学院生活は期待以上でした。授業では楽しみな科目が数多くあり、その中では、特に、先生方の話から刺激を受け、自分の考えを深めていくことができました。討論中心の授業では、じっくり考える楽しさ、おもしろさ、難しさを実感しました。私は、できるだけ多くの先生方から学びたいと思い、可能な限り多くの科目を履修しました。その上、専門書、新書、ベストセラーなど、興味のある本を読む時間を与えられ、満足感を得ることができました。忙しい学校現場では得難い経験です。

また、若い院生、留学生、現職教員など様々な院生との出会いがあり、交流することで、元気や若さのパワーをもらいました。

最後になりましたが、新入生の皆さんには、いろいろなことにチャレンジして、有意義な学生生活を送ってほしいと思います。

## 「先輩から一言」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そろそろ新入生ガイダンスに飽きてきた頃ですか?そこで、眠気も吹っ飛ぶようなお話を、先生の近くで学ぶ機会にある院生の私が、勇気を振り絞ってお話したいと思います。

私の指導教員の辻上佳輝先生は、一部では大変有名な方のように。例えば、学生の間では、面倒見が良い、教育熱心、優しい、おちゃめなど言われています。確かに、先生の研究室には、よく学生さんが相談や質問にきていますし、昨年は800ページにわたるレジュメを講義で配布されました。さらに、私の微妙な発言に対しても、時には‘大人の余裕’の笑顔で受け流し、時には豪胆に笑い飛ばすような方です(因みに、どれくらい微妙かといえば、先輩や後輩が『言い過ぎ』とか、『立場をわきまえろ』と思ったり、中国から留学してきたもう一人の院生が、日本の先生と学生の関係についてカルチャーショックを受ける程です)。また、ピンクや茶色、黒などのカッターシャツに、トトロやウサギ柄のネクタイという若々しい格好をされていますので、「頼れる兄貴」という印象を新入生の皆さんも持たれると思います。

しかし、私には、「頼れる兄貴」ではなく、「厳しい(鬼)教官」という印象の方がずっと強いです。厳しいといっても、言葉づかいや態度などの礼儀にうるさいわけではなく、先生の考え方を学生に無理やり従わせるわけでもありません。「自分の頭で考え、自分の言葉で語り、その言葉に責任をもつ」ことを要求される点において厳しいのです。先生の厳しさを物語るエピソードを紹介したいところですが、紙面と卒業の都合上省略します。

(鬼)教官とネコに囲まれて、今日も辻上研究室は楽しく(タテマエ)、厳しく(ホンネ)平和です…。



法学研究科2年  
深蔵 美希

## 「進歩を感じる大学生活」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。  
これからは、みなさんが待ち望んでいた大学生活が始まります。みなさんが描いていた大学生活はどんなものでしょうか。大学ではたくさんの優秀な先生と出会い、仲間を作り、充実した4年間になると思います。

私は中国から来た留学生です。日本では様々な個性をもつ人々と知り合い、貴重な出会いを積んできました。大学院の進学を決めたのは、自分が興味を持っている分野に関して、より一層知識を磨き、レベルアップをするためでした。

大学院に入学して、一番味わうことができるのは自由な思考と活動の素晴らしさです。これは自分の中に内在した好奇心を引き出し、将来に対して希望や勇気を与えてくれます。

大学院の授業では、様々な分野の社会人の方とも一緒に勉強することができます。また、少人数の授業が多いので、みんなとディスカッションしながら、自分の意見や観点を述べることができます。みんなの前で話すことが苦手な人にとっては、とても有益なものになります。

このような授業を受けたことで、たくさんの専門知識を得ることができましたし、自分の考え方の変化を感じます。また、対人マナーの勉強にもなり、将来の社会人生活に役立つ経験をしています。

新入生のみなさんが、夢と希望で溢れる大学生活を送られることを心からお祈りしています。



経済学研究科2年  
張 蓮玉

## 「将来の自分を見据えて」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長い受験生活お疲れ様でした。これから新しい大学生活が始まり、様々な目標を持ってこれからの大学生活を過ごされることと思います。大学は学問を学ぶことはもちろん、人間形成を行う場として最適であると考え、将来必ず役に立つことがあると思います。さて、私は歯科医師として大阪の医院に勤務しております。昨年春より医学系研究科に所属しており、ある日、勤務した医院の部長より「社会人大学に行ってみないか?」と言われたのです。元々研究に興味もあり、臨床だけでなく、大学院生として何かを学べるのではないかと思い、社会人大学院を受験しました。日々臨床に、勉学に励んでおります。

これからの大学生活を通じて得る知識や経験は、将来の自分の財産となり、その財産は誰にも奪われることのない大切な「自分だけのもの」となるでしょう。卒業するまでにその「もの」をどれだけ多く得るかは自分次第です。

色々とお話をしてきましたが、大学生活は必ず楽しいと思いますよ。大いに楽しんで下さい。大変なこともあると思いますが、それは一時的なもの。それを乗り越えてこそ、素晴らしい将来があることを忘れないで下さい。皆さんが充実した大学生活を送れますよう、心よりお祈り申し上げます。



医学系研究科2年  
上野 貴士

## 「今を生きる」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから4年間、みなさんには今まで体験できなかった生活が待っています。大学生活では学業は当然ですが、それ以上に自分に与えられた自由な時間をどう使いこなし、充実した4年間にすることを考えることが非常に大事です。なぜ?それは大学生活とは一瞬だからです。

大学生活が一瞬で過ぎるというのは、僕の周りの誰に聞いてもそう答えるでしょう。僕は大学生活を例えるなら『閃光』だと思います。この与えられた最高の瞬間であなたはどれだけ輝くことができますか?僕の場合はバイトで社会勉強ができ、運動部に入部し、新しい仲間と毎日が楽しく過ごせました。この道を選んだ自分を全く後悔していません。自信をもってそう言えます。みなさんも自分はこんなに頑張ったんだ!と将来胸を張って言えるような毎日を過ごして下さい。時間とは人間に与えられた唯一平等なものです。その時間をどう使うかはみなさん次第。素敵なキャンパスライフになることを心から願っています。

～最後に僕から贈る言葉です～

『傷つく事を恐れない、傷つくからこそ僕は前に進める。』

『動かないものって、つまらないよね。人間だってそう。動かさなきゃ何も始まらない。』

『後悔はするもんじゃない。後悔しないように今自分がどれだけ頑張れるかが大事なんだ。』

『自分を大切に想ってくれる人、認めてくれる人を作るってのは、すごい難しいことだけど素敵なことだね。』

この言葉のうち一つでもいいです。みなさんの心に響けば嬉しく思います。



工学研究科2年  
高田 圭一

## 「先輩から一言」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから楽しい大学生活が始まります。新生活の期待と同時に不安もあると思います。その中でやはり大切なのは人とのつながりです。さまざまな場面でさまざまな人と出会うでしょう。その経験が自分を成長させてくれるはず。特にサークルで先輩と仲良くなるとうれしいことがあります。授業の取り方、裏情報、サークルについてなどさまざまなアドバイスがもらえたり、またテストの過去問がもらえたりします。やりたいことがある人はもちろん、特に無い人はサークルを見て回るだけでも十分です。先輩だけでなく友達も増えることは間違いありません。さらに恋もできるはず。また、大学生は自由なことが多いです。やろうと思えば何でもできます。何事にも挑戦していきましょう。その中で単位を落としたりすることもあるでしょう。でも悪いこととは限りません。そこからいろんなことを学び、今しかできないことを満喫してください。4年間なんてあっという間です。卒業する時にやっておけばよかったと思うことが多くあります。皆さんはそうならないよう目標をもって歩いて下さい。充実した時間を過ごせるよう心よりお祈り申し上げます。



農学研究科2年  
小林 美幸

## 「もっと欲張った学生生活を」

新入生の皆さん、この度は、香川大学ビジネススクールへのご入学、誠にありがとうございます。「大学は、卒業しておかないと・・・」といった社会的な風潮や体裁から、何となく敷かれたレールに乗って入学した大学時代(大半の方がそうでは?)と違い、当研究科では、皆それぞれ明確な目的を持ち、自分の意思で進学しています。

社会人経験を積んだ中で、もう一度学問を志す人々が大半を占め、学生のモチベーションは高く、適度な緊張感の下、授業は進められています。普段気の合う仲間同士でも白熱した議論を良く展開しています。また職種、年齢共に幅広く、バックボーンの違う人々と意見を交わすことは、将来何物にも代え難い財産に必ずなると確信しています。

私の場合、銀行員として行外研修に参加し、法人・個人顧客からの相談を解決していく中で、自分の知識が頭打ちになっているのではないかと感じるようになりました。自分の殻を破るには、経営学の体系的な習得が不可欠だと痛感し、入学を決意しました。現在、製造業やサービス業等から来ている仲間達とのディスカッションを通じて実務的な勉強に取り組んでいます。

今、道州制の問題等地域を牽引していくネクストリーダーが求められています。2年間という短い期間を有意義に過ごす為には、1日も無駄には過ごせません。我々の代では、学業だけでなく、院生生活をトータルで充実させていく試みとして、フットサルサークルを学内で立ち上げ、オリジナルユニフォームも製作し、活動を続けています。

勉強ができる環境に身を置ける事、即ち家族、会社等周囲に対して感謝の気持ちを忘れず、これから始まる学生生活をすばらしいものにして頂きたいと切に願っております。さあ、あなたも『もっと欲張った学生生活を』送って下さい。



地域マネジメント研究科 2年  
多田 浩士

## 「ロー生の心得」

ロースクール誕生から丸3年経ちましたので、新入生のみなさまにおかれましては、ロースクールを経て司法試験に合格することは、相当の覚悟が必要であることを認識されていることと存じます。以下、ロースクール生活での心得を2点述べたいと思います。

### 1, 予習と復習について

特に未修者の方にとっては、予習で手一杯になると思います。しかし、重要なのは復習であると思います。講義収録配信システムもありますので、講義内容を忘れないうちに復習をしてください。また、初学者の方は法学部出身者と議論することにより、さらに理解が深まると思います。

### 2, モチベーション維持について

寝ても覚めても法律のことばかり、という生活が延々続きますので、モチベーションの維持が非常に重要になってきます。自分なりの対策を考えてください。本学では、実務家と接する機会も多いので、有効活用してください。2年生有志で不定期にスポーツも行っております。

当たり前のことが当たり前のようにできるようになることが、司法試験合格への近道であると思います。共に頑張りましょう。



連合法務研究科3年  
石原 法泰



## 「新入生のみなさんへ」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ待ちにまった大学生活が始まりますね!皆さん一人一人様々な気持ちを抱いて、今、この場にいます。大学では中学校や高校の時と違って、自分がやりたいことに挑戦する場と時間がたくさんあります。新入生の皆さんには、ぜひ「今自分がやりたい!」という何かを見つけて、それに打ち込んでいただきたいと思っています。と言うのは、私が今、実際自分の好きな事を思いっきりやることで大学生活を満喫しているからです。

最初はわからないことが多すぎたり、変に何もしない時間が増えたりして、戸惑ったり、逆にやる気をなくしてしまったりすると思いますが、ゆっくり自分自身を見つめることで、本当に自分がやりたいことを見つけていってください。

一生に一度しかない大学生活です。お互いに助け合いながら、後悔だけはしないように精一杯頑張ってください。皆さんが素敵な4年間を過ごせることを祈っています。



体サ連委員長  
宍田 裕子

## 「恃人不如自恃也」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大学では自由な時間が沢山あるので、自分の好きなことが出来ます。勉強やバイトなどやりたいことは山ほどあるでしょう。もちろん、何もせずにのんびり過ごすのも大いに結構です。過ごし方は人それぞれですが、共通することが一つ。それは、「後悔しない大学生活を送る」ということです。自分が選んだ生活を過ごしておきながら、後になって「つまらない大学生活だった」と愚痴をこぼすのは愚の骨頂です。人生というものは、充実してもしなくても、時間が過ぎるのは早いものです。後悔をしないためにも、どうい生活を送るかを熟考してから過ごすことをお勧めいたします。

大学在学中に、よく「目標を持って」とか「積極的に行動を」などという言葉が目立つかもしれませんが、この言葉に頭を痛める必要はないと思います。自分の意志で動き、自由に生きる、これが出来たら十分だと思います。もちろん、本業の学業は疎かにしないように。大学は、他者の力に頼るのではなく、自分の力で頑張るところです。このことを頭の片隅にでも置いてください。

みなさんが、記憶に残る大学生活を送ることができることを祈っております。



文サ連委員長  
利根 荘一郎

## 「先輩から一言」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。全国の様々な大学の中から、皆さんがこの香川大学に入学されたことを、大変嬉しく思います。

医者としての評価を勝ち取るにはあらかじめ真の医学的知識を学び取って  
いなければならない(ヒポクラテス)

この言葉があるように、私達は多くのことを学ばなければなりません。僕も入学当初はこのように考え、多くの夢を抱え、今思えば入れ込み過ぎていたのでしょう、かなりトップギアで走っていたと思います。しかし、そんな生活も長続きはしませんでした。受験勉強に明け暮れていた時期に比べると、やはり自分が時間を持て余していることに気づくのです。

そのままの気持ちでだらだら過ごしていると、ふと大学構内で目につくものがありました。それは難解な医学書を読む先輩、グループで症例検討をしている先輩です。また熱心にスポーツに励む先輩もいました。その時に、自分の中に忘れかけていたものがなにかが戻ってきた気がします。

今、学年が上がるにつれ、学ばなければならないことの量の多さ、また無知であることが罪であることがひしひしと感じられます。それは「命を預かる」ということが身震いするほど怖ろしいことだからです。それをまるごと受け入れられる器を作らなければ…

最後にもう一度、

医者としての評価を勝ち取るにはあらかじめ真の医学的知識を学び取って  
いなければならない (ヒポクラテス)

この言葉を新入生の皆さんに贈るとともに、もう一度自分自身に言い聞かせたいと思います。共に頑張るって良い医療人を目指しましょう。



医学部学友会総務委員長  
大鶴 徹

